市報とおかまち

平成18年（2006）September 第35号

TOKAMACHI

9.10

だんだん

国際的!?奇祭

ワッショイ! wassyoi!。もみじの大木を集落中引き回す「小白倉のもみじ引き」には、イギリスの建築系大学の学生（約10か国・20人）も参加。毎年ムラに滞在して交流を深めています。芸術祭の見学者も列に引き込まれていました。（P7参照）

主な内容

- ［特集］芸術祭を楽しむ⑥ 芸術祭がグーンと身近に …… 2-5
- 2006お祭り合戦! …… 6-7
- 十日町市情報化推進会議 …… 8-9
- 十日町市の17年度決算 …… 10-13
- エデンの花畑 …… 14
- 市長への便り …… 15
- 地域の風～支所からのたより～ …… 16-17
- ときめきネットワークほか …… 18-19
- まちの話題 TOWN TOPICS …… 20-21
- 全国大会入賞者ほか …… 22-23
- お知らせ・ガイド …… 24-27
- ジュニア芸術祭 ―橘小学校― …… 28

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

特集 好評！市民参加のイベント

芸術祭を楽しむ⑥ 芸術祭がグーンと身近に

作品点数の多さに加え、イベントの開催数も多い今回の芸術祭。なかでも、市民が出演や参加をしている催しは、親しみもあって好評を呼びました。作品の鑑賞者としてのかかわりから、作家と共に自ら作る、いわゆる「協働」の取組みは、芸術祭を身近に捕らえられることから印象を深めています。

会期中に開催されたイベントやワークショップのうちの市民が参加した主な催しから、作家や参加者の声をうかがいました。

「百万遍」に笛とパーカッションが共演

儀明劇場『倉』公演

「伊達娘恋緋鹿子（だてむすめこいのひがのこ）火の見櫓の段」の１シーン

9月2日㈯に行われた「儀明劇場『倉』公演」は、翌日にまつだい農舞台で行われる人形浄瑠璃のプレイベントで、文楽人形と地元芸能の共演です。

儀明劇場「倉」は、第2回大地の芸術祭で、立体造形作家の中瀬康志さんが制作した古民家を改修した劇場です。庭から滑走路のように突き出た舞台が特徴で、眼下に広がる山並みが開放感を漂わせます。

文楽人形遣いの吉田勘緑さんがこの劇場で公演するのは今回で3回目。公演の始めには、儀明集落の婦人会や老人会の皆さんが、現在も集落で葬儀の際に行われる「念仏講」や「百万遍」を地元芸能として演じるなど、住民参加の和やかな催しでした。

吉田勘緑さん
（人形浄瑠璃文楽座）

ここ（儀明劇場「倉」）から広がるロケーション、都会で味わえないこの異空間が好きなんです。まさにこの地域の良さだと思うんです。それを私は文楽でPRしながら、いろんな人が使えるようにしたいんです。たくさんの人がかかわりを持って、交流が生まれれば地域が活気付くでしょ。私がムラの活性化のお手伝いができればうれしいです。来年もやりますよ。

小堺正利さん
（儀明・67歳）

２年続きの大雪に、昨年は豪雨にも見舞われて、ここもけっこう傷んだんですけど、きれいに復帰できて良かった。こうやってまた吉田さんから公演をやってもらえると、生き返ったように見えます。今回は、集落の有志がみんなに声をかけて、参加してもらいました。念仏講？って思いましたけど、文楽人形と良い取り合わせでしたね（笑）。高齢化が進む中でこうやってムラが盛り上がるのはうれしいですね。

キモノファッションショー 越後の衣服

稲のはざ掛けで、雪の街路をイメージした作品「ユキノミチ（千葉大学栗生明研究室・泉町）」を舞台に行われたファッションショーが8月10日㈭、11日㈮の2日間開催されました。演出は、衣服造形家の眞田岳彦さんで、ショーには作品を制作した学生や上町俄若衆、繭の会のメンバーなど市内の団体約80人が出演。きものから農作業着まで地元に馴染みのある衣装をまとい、米作りや機織りなど演技を加えた踊りや芸能で地域の風土を表現しました。

◆眞田岳彦さん（衣服造形家・43歳）

きものや繊維、芸能の伝統などを演出の中で表現したかったんです。地域の皆さんの協力によるもので、リハーサルでもみんな楽しそうにアドリブを加えていました。ショーは四季を構成していて、ドラマ仕立てにしました。天神囃子や神楽の地域芸能に加え、大島伊一さんや大掛きみ子さんの語りなど、バックの設えと絶妙なマッチで、幅のあるショーだったと思います。

参加者の声

徳井芳隆さん（堀之内・73歳）

作家の水澤尚子さんと地域のみんなで作った「僕らの農業」という農作業着の作品を着て５人で出演しました。色華やかなオリジナル衣装で最初は恥ずかしかったけど、せっかく作ったんで自分たちで着てみんなに見てもらいたいという気持ちもありましたから、いい機会でした。わりとみんないいノリでした。見てる人に喜んでもらえるってうれしいですよ。

きのこの踊り ダンスで体現 キンシーズ！公演

地域の高齢者がプロのダンサーと「キノコ踊り」を共演する「キンシーズ！」が8月25日㈮、まつだい農舞台で開催されました。この公演は「堀田羅樫記念館設立委員会（東京大学有志）」が企画し、振り付けは、国際的に活躍している東野祥子さん（Baby-Q）が指導。松代の高齢者生涯学習サークル「松寿大学」の学生10人と東野さんの息の合った演技は、注目を集めました。

暗いステージからカラフルな傘をかぶり、白粉を塗って現れた学生たちはスポットライトを受けて、すっかりキノコになりきって登場。曲に合わせたコミカルな動きや東野さんとの掛合いの表情の面白さに、会場から親しみのある笑い声がわき上がっていました。

松寿大学の美濃和英学長は「私たちは高齢者学部です。同じ大学仲間ということで声を掛けてもらいありがたかった。出演した学生の最高齢は81歳ですが、芸術祭イベントということで5月から一生懸命練習してとてもやりがいがありました」と息をはずませながら話していました。

参加者の声

中村元平さん
（松代・81歳）

この歳でダンスなんてねー。けっこう動きがあるんだんが。若い先生と踊れておらも気分が若返らーそえ。前回の芸術祭のときに、ここで公演された「真実のリア王」にも出ました。地元での催しだすけねー。おらもやれることは手伝わねーとね。おかげで、農舞台でやる公演なんかを見に来て、勉強したりしらーで。いやーごそまつさまでした。

土の音-まつだい

陶芸作家:渡辺泰幸

渡辺泰幸 演奏会

第2回大地の芸術祭に土市で、市民とともに陶製の打楽器を作った渡辺泰幸さんは、今回の芸術祭で新たに松代南部地区（小屋丸、池之畑、下山、海老、東山）の人たち50人と、約300個の陶製の音具を作りました。たたいて音を出すことで「土の音」を感じる作品で、今回は農を主題に種や米をイメージする形になっています。

この作品を使って8月19日㈯は土市で、20日㈰はまつだい農舞台で打楽器奏者の永田砂知子さんによる即興の演奏会が開催されました。

渡辺泰幸さん
（陶芸作家・37歳）

この音具の表面には、制作者の思い思いのデザインが彫られています。人それぞれ顔が違うように、穴の大きさや形が異なります。だから音の響きや高低が違ってくるのです。この異なる音によって、今日の演奏会ができたのです。奏でられたメロディーにみんな耳を澄まして聞いていました。自分の音だからですね。音具を制作した皆さんは、今日の演奏会も演出したんです。会期が終わると、各自持ち帰ってもらいます。いい思い出にしてほしいです。

参加者の声

柳 ミツイさん
（小屋丸・77歳）

私は自分のえとの戌を彫りました。こうしてたたいてみるとみんな音が違うんだの。気持ちよく響いて、なんかこれ（音具）と会話をしてるみて。焼いた窯も渡辺さんと南部の人が作ったーで。みんな面白がってたの。地区の人たちで芸術祭に参加できてよかったっけ。芸術なんて良くわからねでも、こうして形になるってことはうれしいの。

いけばな里山学校

8月9日㈬・10日㈭の2日間、小白倉集落で「いけばな里山学校」が開催され、首都圏や地元の親子連れなど約30人が参加しました。

9日は、小白倉周辺でいけばなの材料の採取。地元の人の案内での里山に分け入り、野山に咲いている花やつるなど数十種類がキャンパス白倉(旧白倉小学校)に集められました。

10日は、いよいよいけばなですが、その前に器作り。参加者はペットボトルと竹かごを使って世界に一つしかない花器を作りました。最後に、作家（長井理一、早川尚洞、日向雄一郎の各氏）の指導を受けながら、いけばなアートを完成させました。

参加者の声

片桐 瞬さん
（小白倉・9歳）

ペットボトルを平べったくして花器を作りました。けっこう面白い形になっているでしょ。楽しいよ。

インスタレーション＆ワークショップ

「ピュアランドの夏祭り」

守屋行彬＆小串里子

ワークショップ

里山の風になって

城ヶ丘ピュアランドの広場中央に置かれた踊る人をかたどったオブジェ。そこから四方八方に広がる色とりどりの布が、まるでまつり会場のような雰囲気をかもし出し、オブジェを引き立てています。

インスタレーション（現代美術の手法の一つで、従来の彫刻や絵画というジャンルに組み込むことができない作品とその環境を、総体として観客に示す芸術的空間）とワークショップを組合せ、2人の作家のユニットで生まれたこの作品は、参加するすべての人がアーティストです。

◆守屋行彬さん（美術家）

私はこの作品の中のインスタレーションを手がけました。屋外の開放感を生かして、楽しい雰囲気を作るよう考えました。6か月前からオブジェ（踊っている人）を作り始め、6月には十日町小学校で小学生と保護者で版画と布コラージュのワークショップを行いました。コンセプトは「だれもがアーティスト、だれもが表現者」、主役も脇役もないアートです。

布を張るために使っている丸太は雪囲いの材料です。地元の素材で、地元の子どもたちが作品を作る。土地に根ざしたものができあがったと思います。作品をとおして、地元の人と来訪者が交流を持つことにこの作品の意味がありました。

◆小串里子さん（美術教育家）

のびやかに軽やかに、里山の青空と緑の大地に向かって展開するアートです。子どもの絵が、大人やアーティストと対等に魅力を発揮していきます。

アフリカのパーカッションを流すことで、体や心が自然に動き、線（絵）が出るんです。これは芸術の基本です。踊りながら描く。慣れないことなので、はじめは恥ずかしそうでおとなしい動きでしたが、他の人のを見たり、自分が見られたりすることで、徐々に動きに変化が現れてきました。アートは体験しないと楽しさ、難しさは分かりません。それは自分発見でもあります。

この作品には失敗はありません。日々変化をしていきます。50日後の作品を予想できない楽しみがありました。

参加者の声

高橋 冬夢さん
（田川町3・9歳）

版画の絵を何にしようか、なかなか決められなかったけど、絵を描いて、切って、貼り付けたりする作業はおもしろかった。踊りながら描くのはむずかしいけど、慣れてきたら楽しかったです。

駐車場をコミュニケーションの場に

パークレット

ミオンなかさと駐車場に続々と入ってくる車を、スタッフがてきぱきと誘導していきます。車を使った新感覚のゲーム、パークレットは、一見、駐車場整理のようです。しかし、やぐらの上から見るとその景色は一変。駐車場に入る車一台一台を駒に見立てるこのゲームは、同じ色の車が3台並ぶとCOMBO！ドライバーに達成記念のバッジと石けんが贈られ、記念撮影が行われます。4台目以降もCOMBO！は連続して起こるため、同色の車がどんどん並んでいくと、スタッフは大いそがし。今までの最高はシルバーの車が8台つながり6連続のCOMBOでした。

主催者である東北大学非常勤講師の槻橋修さんは「人と人とのつながりが薄れている現在、町中にある駐車場でこのようなゲームを行うことで、知らない人同志のコミュニケーションが広がっていけばうれしいですね」と話しました。

2006 お祭り合戦！

八角みこし渡御（とぎょ） 十日町おおまつり／８月27日(日)

「おいよい！おいよい！」のかけ声が市街地に響き渡ります。おおまつりのシンボル・八角みこしの渡御は８月26日(土)・27日(日)の両日行われ、裸の男たちが約２時間にわたってみこしを押し合いました。

８月27日前後から今月にかけて、「十日町おおまつり」をはじめ、各地で盛大に夏・秋まつりが催されました。昔から受け継がれてきた産土神（うぶすながみ）の祭礼はもちろん、時代に合わせて再編成されたイベントとしてのまつりや、大地の芸術祭を機会に新しい要素を取り入れたものもあります。そのいくつかを、写真を中心に紹介します。

明石万灯 十日町おおまつり ８月25日(金)

大民謡流しとともに、おおまつりのオープニングを彩るのが明石万灯。個性あふれる光の道行きです。

大民謡流し

十日町おおまつり／8月25日(金)

職場や町内単位で、色とりどり・そろいの浴衣に身を包んで「十日町小唄」「深雪甚句」を踊り歩きました。子どもたちの息もぴったり。

犬伏裸みこし

犬伏裸祭り／８月17日(木)

松苧神社秋の祭礼で行われる、裸押合祭り。８月17日の宵に、渋海川で身を清めた男たちがみこしを担いで集落を練り歩く、犬伏の伝統行事です。

松之山女みこし

松之山まつり 9月2日(土)

威勢のいい「せいや！」「せいや！」のかけ声とともに松之山商店街を練り歩いた「女みこし」。マーチングバンドや子供みこしとともに祭りパレードを盛り上げました。

からす踊り

風祭り／９月２日(土)

東田尻の河原で出店や笹湯ふるまい、からす踊りなどがにぎやかに催されました。すぐそばの大地の芸術祭作品「大地のグルグル」を3,000本の夢ホタル（LEDの光）で囲むイベント「光のグルグル」も行われました。

もみじ引き

小白倉もみじ引き／９月３日(日)

五穀豊穣（ごこくほうじょう）などを祈念して、樹齢80年余りのもみじの巨木を引き回す珍しいお祭り。奇祭と地域の魅力に引き寄せられ、毎年大勢の観光客でにぎわいます。

福まき大会 千手まつり／９月３日(日)

２年続きの災害からようやく改修が終わった千手神社には300人を超える人が集まり、震災復興と地域元気を祈念した福まき大会で大にぎわいとなりました。

十日町市情報化推進会議

～安心なまち、便利なまち、活力のあるまちを目指して～

市では、十日町市情報化推進会議を設置し地域情報化を推進しています。第１回会議を７月14日に開催し、８月末までに計５回の会議を開催しました。その内容をお知らせします。なお、会議当日の配布資料、会議録などは市のホームページ（http://www.city.tokamachi.niigata.jp/）に掲載してあります。

情報化推進会議の役割

市では、「安心なまち、便利なまち、活力のあるまち」を目指して、高速インターネット、ＣＡＴＶ（有線テレビジョン）、告知放送、地域内無料電話の４つのサービスを柱とする高速情報通信網の整備を進めています。情報化推進会議は、この高速情報通信網整備を推進するための「十日町市情報化アクションプラン」策定にあたり、様々な意見・提案を集約する組織として設置しました。構成員は、別表の40人です。

アクションプランの構成

アクションプラン（実施計画）は、市が昨年度までに整備した公共施設98か所を結ぶ光ケーブル（基幹線）から、今後各家庭に向けて整備する「加入者線」の具体的な整備内容をまとめる計画書です。計画書の内容は、高速インターネット、ＣＡＴＶ、告知放送、地域内無料電話のサービス内容、利用料金や加入者負担金、全体事業費、財源計画、整備スケジュールや運営組織などです。

推進会議の開催経過

【第１回推進会議・７月14日㈮】

第１回推進会議では、正副委員長の選任が行われ、委員長に新潟大学経済学部助教授の澤村明氏が、また副委員長に十日町商工会議所常議員の樋口誠氏が選任されました。その後、報告事項として地域情報化の推進経過、有識者懇談会の提言書が説明されるとともに、確認事項として市の地域情報化の基本的な考え方（地域情報化は、団体や個人を情報通信技術で結ぶことにより情報や知識を共有し、自立・協働を推進し、地域の課題を解決すること＝まちづくり）が説明されました。

協議・検討事項では、①加入者系伝送路の整備手法と運営形態について（＊基盤整備と運営形態は４本柱の実現、運営経費の低減を図るため「公設民営」とする＊運営主体を決めるため企画提案会を実施したいなど）、②告知端末機の基本的な考え方（＊防災を切り離しコミュニティ創生・再生機器とすること＊全戸配置から希望配置に方針変更すること＊利用者負担についても検討することなど）が提案されました。

【第２回推進会議・７月24日㈪】

第２回推進会議は澤村委員長の提案で、今後の議論を深めるため通信・放送事業者を招き、現在、通信・放送でどのようなことができるのかを聞く説明会として開催されました。参加事業者は①東日本電信電話②ソフトバンクＢＢ③東北インテリジェント通信＋ＫＤＤＩ④エヌ・シィ・ティ（長岡ケーブルテレビ）⑤上越ケーブルビジョン⑥エフエムとおかまち　の６社です。

第４回情報化推進会議

【第３回推進会議・７月27日㈭】

第３回推進会議では、ＣＡＴＶの必要性について意見が交わされました。賛成者からは、難視聴地域解消のために有効、合併で拡大されたエリアの情報共有や地域の情報を外に発信するなど自主放送は地域活性化に必要であるとの意見が出されました。反対者からは、デジタル化により難視聴のほとんどが解消する、通信と放送の融合により無駄な投資となるのでは、需要が不透明で採算がとれないなどの意見が出されました。

【第４回推進会議・８月９日㈬】

第４回推進会議では、①ＣＡＴＶの必要性について意見集約、②公設民営による整備についてなどが主な協議・検討事項となりました。ＣＡＴＶの必要性については、採決に先立ち澤村委員長が「この会議は意思決定する会議ではなく、どのような意見があったかを集約するところ。ＣＡＴＶが必要という人、必要ないという人のどちらが大勢であったか、その結果を見て少数意見の人はどのような懸念を示しているのかを整理した上で、私の名前で文章にし、市長に提出したい」とし、委員の確認を得た上で無記名投票が行われました。採決の結果と、市長宛の意見集約文書は下のとおりです。

【第５回推進会議・８月22日㈫】

第５回推進会議では、運営主体を選定するための企画提案会の評価委員の推薦を行う予定でしたが、多くの委員から告知端末機の議論をまず行うべき、企画提案会の姿が見えにくいなどの意見が出され、推薦作業に入れませんでした。澤村委員長のまとめで、告知端末機の議論の取り扱いを第６回推進会議（９月４日開催）で議論することとしました。

今後の予定

市では、アクションプランを９月末までに策定し、10月からはその内容についての市民説明会を行う予定で作業を進めてきましたが、推進会議で慎重な議論を行っているため、そのスケジュールが大幅に遅れています。今後、推進会議での協議・検討状況を見ながら市民説明会のスケジュールを確定し、市報などでお知らせしますのでご了承ください。

平成18年８月22日

十日町市長
田口 直人 様

十日町市情報化推進会議
委員長　澤村　明

十日町市情報化推進会議における
通信及びCATVの同時敷設に関する意見集約について

標記の件については、平成18年８月９日開催の第４回十日町市情報化推進会議まで議論を重ねた。その結果、第４回の席上で採決したところ、市の原案である通信網と併せてCATVによる放送網を同時に敷設整備することについては、賛成23票、反対５票、白票７で、おおむねの同意が得られた。

しかしながら、下記のような異論もあったため、今後の事業推進に際しては、技術進歩などの環境変化が起こった場合には柔軟に対応することが望まれる。

CATVの同時敷設についての主な異論

1）地上デジタル放送の整備により、難視聴世帯のほとんどが解消するのではないか。
2）同じく、地上デジタル放送に伴う難視聴解決は放送局など原因者負担を求めるべきである。
3）CATVのメリットとされる多チャンネル放送について需要が不透明である。
4）通信と放送の融合により、通信網のみ整備すれば放送も享受できるようになるのではないか。

以上

十日町市情報化推進会議委員名簿

（順不同・敬称略）

No.	氏　名	所属・役職
1	柳　能弘	教育委員会・教育委員
2	樋口　誠	十日町商工会議所常議員
3	生越　徹	十日町商工会議所常議員
4	保坂幸男	十日町商工会議所常議員
5	飯塚力三	十日町商工会議所常議員
6	柳　健一	十日町商工会議所情報化推進委員
7	中村公一	松代町商工会長
8	小野塚修	松之山商工会副会長
9	樋口　進	中里商工会理事
10	井之川正利	水沢商工会副会長
11	若木一夫	川西商工会事務局長
12	高橋信雄	JA十日町常務理事
13	重野真一	JA十日町総合企画部企画課長
14	涌井安次郎	㈳十日町青年会議所事務局長
15	渡貫文人	十日町市観光協会評議員
16	村山幸夫	十日町地域協議会副会長
17	宮澤好美	十日町地域協議会委員
18	江口通博	川西地域協議会委員
19	峰尾二郎	中里地域協議会委員
20	佐藤定行	松代地域協議会副会長
21	樋口一次	松之山地域協議会副会長
22	水落吉郎	グループ夢21
23	小海　司	グループ夢21
24	澤村　明	新潟大学経済学部助教授
25	大串葉子	新潟大学経済学部助教授
26	富井冨士子	総合計画審議会副会長
27	柳十四男	妻有ネットフォーラム
28	中川一郎	妻有ネットフォーラム
29	小川信彦	公　募
30	小林　均	公　募
31	引間　博	公　募
32	島本ひろみ	公　募
33	金子淳一	公　募
34	高橋直人	公　募
35	矢口辰幸	公　募
36	星名　徹	公　募
37	根津　勲	公　募
38	星野隆行	公　募
39	山田　剛	公　募
40	佐藤幸夫	公　募

明るく住みよいまちづくりに使われました

市民の皆さんから市の財政を知っていただくため、毎年２回、財政のあらましを公表しています。今回は10・11ページが決算状況、12ページが市の６月末の予算執行状況、13ページが十日町地域広域事務組合の決算状況と６月末の予算執行状況です。

注：（　）内は構成比、〈　〉内は前年度対比（単位：％）

住民１人に使われたお金

右ページの棒グラフ歳出決算額を、平成18年３月末住民基本台帳人口63,135人で割った金額です。

歳出総額 １人当たり673,136円	教育費 51,584円
民生費 117,550円	商工費 44,293円
土木費 115,584円	農林水産業費 43,517円
総務費 86,596円	衛生費 35,779円
公債費 83,788円	その他（議会費など） 94,445円

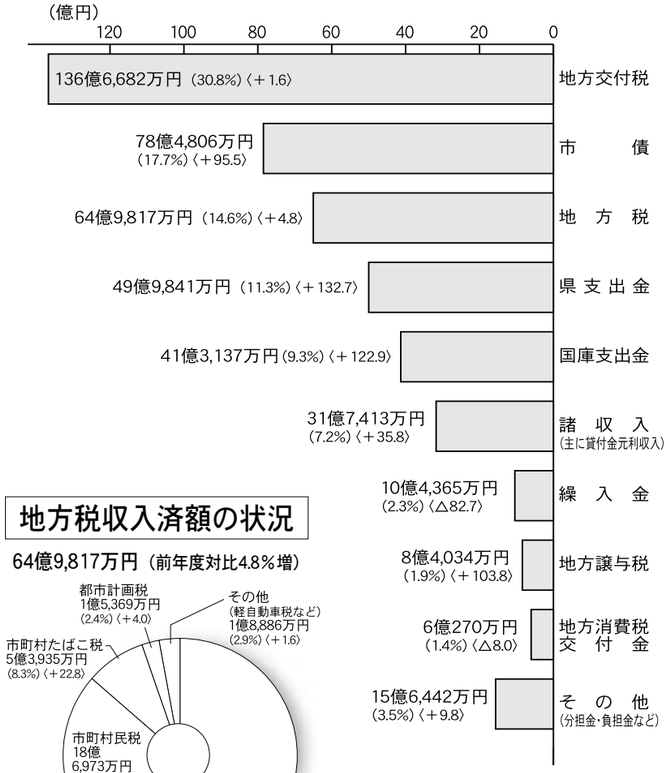
財産の状況

（18.3.31現在）

土地		2,162万9,892㎡
建物		44万5,200㎡
有価証券	株券	11億5,605万円
学校基金	山林	22万6,831㎡
	立木	2,680㎥
土地開発基金	土地	41,328㎡
	現金	5,490万円
その他基金（全会計分）	現金	44億7,063万円

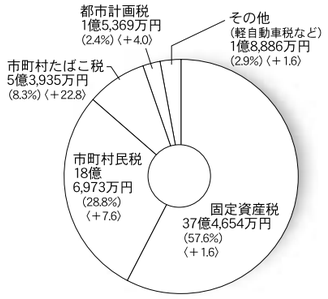
一般会計歳入の状況

443億6,807万円
前年度対比11.3％増



地方税収入済額の状況

64億9,817万円（前年度対比4.8％増）

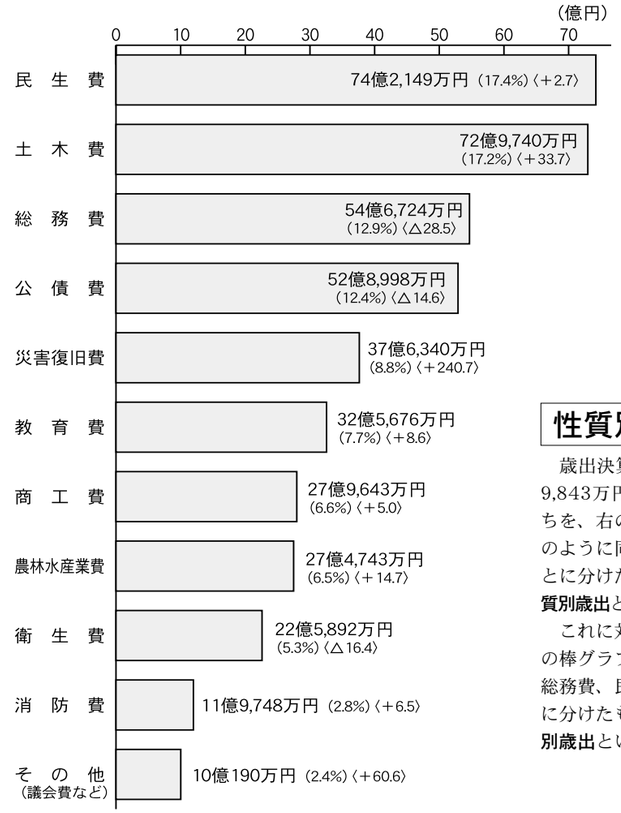


皆さんが納めた地方税は歳入の大きな部分を占めています。

64億9,817万円のうち、固定資産税と市町村民税で合わせて56億1,627万円、86.4％となっています。

一般会計歳出の状況

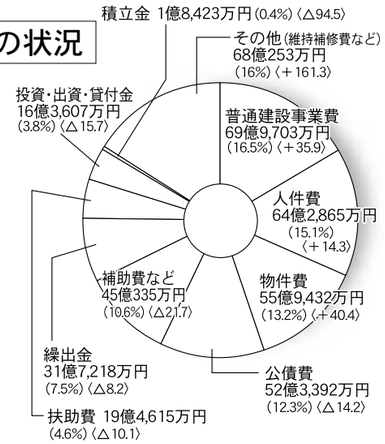
424億9,843万円
前年度対比5.9％増



性質別歳出の状況

歳出決算額424億9,843万円の使いみちを、右の円グラフのように同じ種類ごとに分けたものを**性質別歳出**といいます。

これに対して、左の棒グラフのような総務費、民生費などに分けたものを**目的別歳出**といいます。

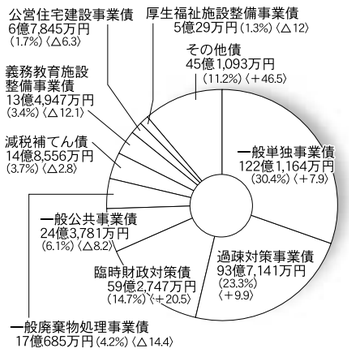


地方債残高の状況

401億7,988万円（前年度対比9.0％増）

地方債とは、市町村や国が銀行などの金融機関から長期に借りるお金です。トップは一般単独事業債で30.4％と３分の１を占めています。２番目は合併後に十日町地域でも借り入れが可能となった過疎債で４分の１を占めており、どちらの起債も道路の建設などに使われています。

また、３番目は普通交付税の代替財源として借り入れている臨時財政対策債ですが、償還額全額を国が補てんすることになっています。



17年度一般・特別会計の決算

一般会計では、歳入決算額443億6,807万円（前年度対比11.3％増）、歳出決算額424億9,843万円（前年度対比5.9％増）で差し引き18億6,964万円の黒字となりました。

（単位：万円・％）

会計名		歳入決算額㋑	前年度対比	歳出決算額㋺	前年度対比	差引額㋑－㋺
一般会計		443億6,807	＋ 11.3	424億9,843	＋ 5.9	18億6,964
特別会計	国民健康保険	58億0,140	＋ 13.7	55億7,928	＋ 13.0	2億2,212
	川西診療所	2億4,319	＋ 2.0	2億1,282	△ 13.1	3,037
	倉俣診療所	9,169	＋ 49.5	8,052	＋ 19.9	1,117
	中里歯科診療所	5,168	＋ 33.3	4,561	＋ 9.5	607
	室野診療所	4,155	△ 4.1	3,364	△ 11.8	791
	松之山診療所	9,358	＋ 4.7	8,886	＋ 3.8	472
	老人保健	78億1,687	＋ 17.1	76億3,886	＋ 16.5	1億7,801
	介護保険	50億8,893	＋ 17.0	48億2,255	＋ 19.2	2億6,638
	簡易水道	15億5,029	＋ 9.9	14億6,524	＋ 9.8	8,505
	下水道事業	40億6,906	＋ 0.7	38億6,948	＋ 3.5	1億9,958
	農業集落排水事業	13億1,994	＋325.4	12億1,281	＋365.3	1億0,713
	計	261億6,818	＋ 17.0	250億4,967	＋ 17.3	11億1,851
合計		705億3,625	＋ 13.4	675億4,810	＋ 9.9	29億8,815

17年度 一般会計の主な仕事（単位：万円）

◆**総務費**
交通政策・生活交通確保対策費……1億3,347
里創プラン事業費……6,627
情報システム運用費……3億6,194
情報化基盤整備費（繰越分含む）……11億9,556
災害復興応援職員受入費……1億0,342
各種選挙経費……1億3,965

◆**民生費**
認可保育所運営事業（繰越分含む）…15億5,936
へき地保育所運営事業……1億7,115
知的障害者福祉事業……3億9,486
身体障害者福祉事業……1億7,701
児童手当支給事業（繰越分含む）……2億9,314
豪雪災害救助費……1億3,457
被災者住宅応急修理支援費（繰越分）……4億1,889
被災者生活再建支援費（繰越分）……2億9,338

◆**衛生費**
医療費助成事業……7,308
津南地域衛生施設組合負担金……1億6,210
がん検診事業……7,062
老人保健事業……1億0,623
じん芥処理費……3億3,639
し尿処理費……9,112
災害廃棄物処理費（繰越分）……2億1,871

◆**農林業費**
中山間地域直接支払事業……5億3,928
生産振興総合対策事業補助金（繰越分）
（中里地域カントリーエレベーター整備・野菜集出荷貯蔵施設整備補助）…1億4,880
産地づくり推進対策市単奨励補助金……4,388
有機センター建設事業（繰越分）
（川西地域）……3億3,966
ふるさとの木ふれあい事業
（松之山地域集会施設建設）……5,827
特用林産物生産施設補助金（繰越分）
（松之山地域きのこ栽培施設整備補助）……3億4,172

18年度一般・特別会計の６月末予算執行状況

（単位：万円・％）

一般会計と特別会計の６月末予算執行状況は右のとおりです。

一般会計は、６月末の予算現額332億3,755万円に対して収入済額98億3,231万円（収入率29.6％）、支出済額55億3,178万円（執行済額16.6％）となっています。

また、特別会計は、222億4,957万円に対して収入済額42億2,525万円（収入率19.0％）、支出済額32億5,320万円（執行率14.6％）となっています。

会計名		予算現額	前年度対比	収入済額	支出済額
一般会計		332億3,755	△ 28.4	98億3,231	55億3,178
特別会計	国民健康保険	52億5,560	△ 7.6	10億2,540	9億0,016
	川西診療所	1億9,929	△ 0.7	4,207	4,043
	倉俣診療所	7,724	＋ 4.4	1,291	1,643
	中里歯科診療所	4,625	△ 7.1	704	1,045
	室野診療所	2,779	△ 20.6	928	479
	松之山診療所	8,492	△ 0.9	1,058	1,960
	老人保健	64億9,633	△ 11.1	13億1,898	12億7,444
	介護保険	47億6,255	△ 7.2	11億3,080	7億4,380
	簡易水道	13億7,796	△ 17.4	1億9,262	5,031
	下水道事業	32億8,821	△ 27.6	3億3,031	1億6,266
	農業集落排水事業	6億3,343	△ 59.2	1億4,526	3,013
	計	222億4,957	△ 15.6	42億2,525	32億5,320
合計		554億8,712	△ 23.8	140億5,756	87億8,498

公共事業執行状況

投資的事業の18年度全会計の６月末予算額113億4,843万円(前年度対比15％減)に対して、執行済額58億7,859万円、執行率51.8％となっています。

（単位：万円）

事業名		６月末予算額	執行済額（執行率）
投資的事業	補助事業	61億9,679	37億6,632(60.8％)
	単独事業	51億5,164	21億1,227(41.0％)
合計		113億4,843	58億7,859(51.8％)

※上記の事業には災害復旧事業も含みます

住民１人に使われるお金

一般会計当初予算額（繰越含）を、18年３月末住民基本台帳人口63,135人で割った金額です。

歳出総額
１人当たり526,452円

◆**商工費**
中越地震災害緊急特別資金預託金……4億1,788
交流促進事業（十日町地域廃校舎改修）…4,355
スキー場運営費……2億2,668
温泉運営費……1億7,573

◆**土木費**
道路橋りょう修繕事業（繰越分含む）……1億2,621
道路新設改良事業（繰越分含む）……4億1,271
克雪住宅等整備促進事業……1億6,306
道路除雪費……26億6,108
消雪パイプ整備事業……5,749
賑わい空間まちづくり交付金事業（川西地域千手中央コミュニティセンター整備）……9億1,964
駅西・西本町土地区画整理事業（繰越分含む）（十日町地域）……7億1,534

◆**消防費**
十日町地域広域事務組合負担金（消防分）……11億7,023

◆**教育費**
奨学生貸付金……6,282
小学校施設整備事業……3,627
小学校学習指導助手等設置事業……4,624
中学校施設整備事業……1,860
中学校学習指導助手等設置事業……3,456
遺跡調査発掘事業……1,791
生涯学習事業（川西地域千手中央コミュニティセンター備品等整備事業含む）……1億0,496
体育施設整備事業……4,172
吉田クロスカントリーコース整備事業……8,271

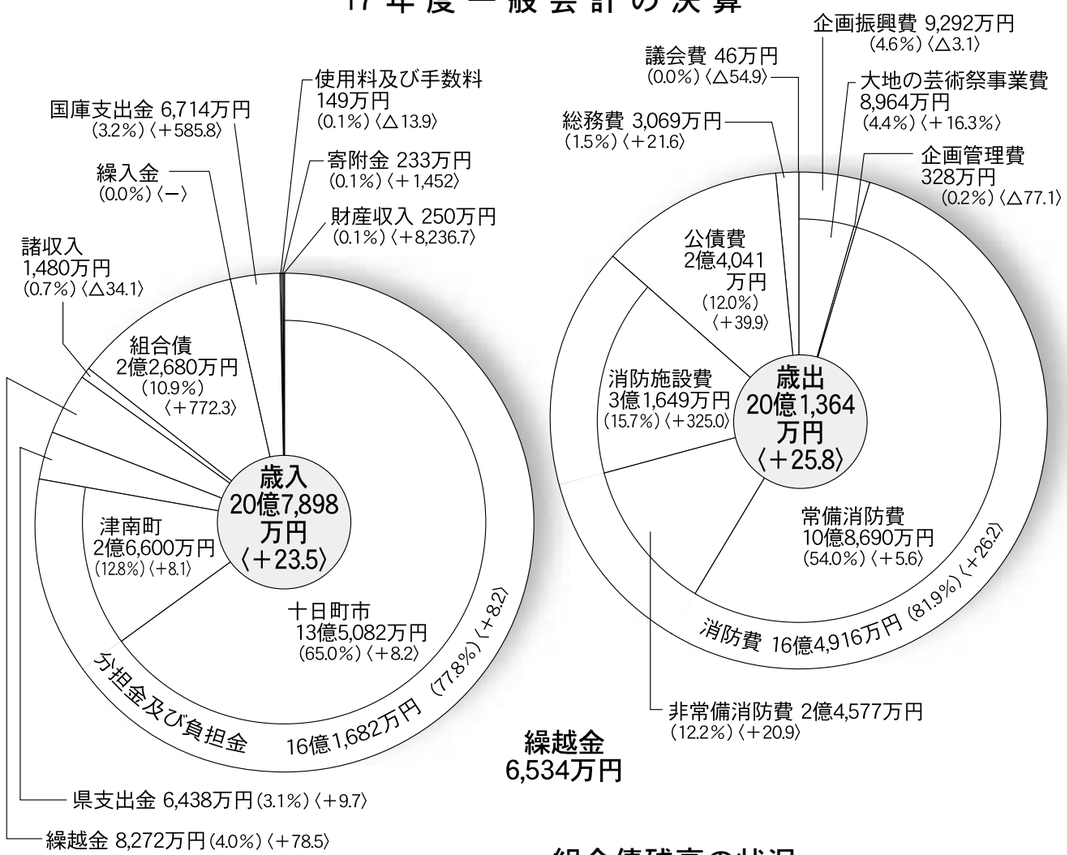
◆**災害復旧費**
農林水産業施設災害復旧費……11億2,759
土木施設災害復旧費……14億8,429
都市施設災害復旧費……1億7,795
その他公共施設・公用施設災害復旧費……9億7,356

◆**諸支出金**
旧市町村借入金返済金……5億8,901

十日町地域広域事務組合

十日町市と津南町で運営する組合で、広域企画振興、消防・救急業務、総合福祉センター御陣荘、家畜指導診療所の事業を行っています。注：（　）内は構成比、〈　〉内は前年度対比（単位：％）

17年度一般会計の決算



組合債残高の状況

（単位：万円）

消防庁舎建設事業		1,674
消防施設整備事業		1億8,727
防災対策事業		1,403
旧地域総合整備事業	防災まちづくり事業	2億7,183
	里創プラン事業	25億0,591
災害復旧事業債		4,730
合計		30億4,308

17年度特別会計の決算

（単位：万円・％）

会計名	歳入額（前年度対比）	歳出額（前年度対比）	繰越金
家畜指導診療所	5,102（△0.4）	4,363（+9.1）	739

17年度出動・利用状況

（単位：件）

	消防車など	救急車	家畜指導診療所
十日町市	305	2,171	5,863
津南町	77	390	7,261
圏域外	0	16	－
合計	382	2,577	13,124

18年度一般・特別会計の6月末予算執行状況

（単位：万円）

会計名		当初予算額	6月末予算額	収入済額	支出済額
一般会計		19億6,680	21億8,685	5億0,350	4億3,116
特別会計	家畜指導診療所	4,360	4,350	1,530	1,018
合計		20億1,040	22億3,035	5億1,880	4億4,134

～理想の花園を目指して～

エデンの花畑

エデンの花畑（黒倉）の夏～秋の花が見ごろを迎えています。耕作放棄された棚田を３年かけて国・県と旧松之山町が整備し、平成15年にオープンしたエデンの花畑。約２ヘクタールに約50種類の花と約40種類のハーブが植えられていて、訪れた人たちを色彩と香りで楽しませています。

花畑で第２の人生

「頭の中は2年後、花がいっぱいのシーンです」。エデンの花畑を管理する㈲エデンの棚田（伊勢谷宣仁代表取締役）専務取締役の小見重義さん（黒倉・55歳）は草取りをしながらそう言います。今年植えた宿根草が花開くのは再来年だからです。

小見さんは、カメラマンと大工の仕事を50歳でやめ、5年前からこの花園作りに取り組んでいます。「ある家の建て前で転落しそうになってね、『あ、これはもう歳だな』って思って（笑）、たまたまこの事業が本格的に始まるのに合わせて、思いきって第2の人生を花にかけることにしました」。

耐雪の花園へ

小見さんはもともと、雪割草の育種・交配を10年以上続けていたので、「植物の基本知識はありました」。

この経験をもとに、「豪雪地に合う多年草の花・ハーブを育てていきたいですね。実は、『耐寒』多年草は開発されていても、『耐雪』多年草のデータはないんです。だから、いろいろな花を冬越しさせて試しています。今ここで咲いているのは相当根性あるやつですね」と、世界一大きいアジサイといわれるアナベルを前に笑います。

エデンの花畑は総面積が広く自然に囲まれた傾斜地のため、管理が大変です。「自然が豊かということは、草の種も豊富だということ。今の体制（2人）だと草取りが追い付かないですね（笑）」と小見さんが言うと、7月からスタッフとして加わった池原厚子さん（長岡市小国町・50歳）がうなずきます。

景観を生かした、どこにもない花畑にしたいという小見さん

池原さんも、「若いときから花を育てる夢がありました。別な仕事に就いていたので夢を実現できずにいましたが、前から好きだった松之山で花の仕事ができて幸せです。ドライフラワーや特産品づくりのお手伝いもしたいですね」と意欲的です。

小見さんが花畑の完成風景を思い描いているのは10年後。「景観自体が美しいので、花を見るだけでなく、染色や果実の加工体験なども含めて、来た人がゆっくり・のんびり過ごしていける場所にしたいですね」。

雪国の自然とともに歩むエデンの花園は、少しずつ花開いていきます。

米や野菜などの特産品も扱いたいという池原さん

■問合せ先　エデンの花畑
☎596―3350

お寄せください
まちづくりの提言・質問

市長への便り

市では、市民の声を広く市政に反映させるため「市長への便り」を実施しています。平成17年度は29通、今年度は24通（8月末現在）が寄せられています。その中から、主なものをいくつか紹介します。
※多数寄せられた意見や質問は、内容ごとにまとめてあります。

「市長への便り」は、市役所本庁、各支所に配置してあります。また、Eメールでも受け付けています。
koho@city.tokamachi.niigata.jp
問合せ：総務課広報広聴係 ☎757-3111（内線213）

Q 予防接種など、制度改正にともなう市民への情報伝達の不足について

A 制度の制定や改正などについては、市報や健康カレンダー、市のホームページでお知らせしています。しかし、経過措置などの詳細については記載していませんでした。今後、市政にかかる必要な事項を的確に市民の皆さんへ情報提供できるよう、市報やホームページなどを充実して、お伝えしていきます。

Q 中越大震災に伴う仮設住宅入居者への復興住宅整備などの対応について

A 稲荷町と西本町に、被災者向け公営住宅の建設を進めています。完成は今年11月の予定です。また、現在建設している四日町市営住宅の一部も被災者向けの住宅として整備を進めており、平成19年9月の完成予定です。それまでは、仮設住宅への入居ができるよう国へ要望しています。

Q 情報館の閲覧図書を充実してほしい

A 情報館で取りそろえる書籍などは、公共性を第一に永久保存となる一般書籍や資料などを優先し、次いで保存期間が短い雑誌類を購入しています。また、利用実績や要望に応じた選定も行っています。今後も、幅広く書籍を取りそろえるため、購入以外に一定の基準を設けた寄贈も求めていきます。

Q 市民の自主自立を進めるため、地区振興会や町内会の自治意識が高まるよう、行政として取り組んでほしい

A 市では、昨年8月に、地域づくりの推進役を担う「地域協議会」を旧市町村ごとに立ち上げました。

このうち十日町地域内に設置された「十日町地域協議会」には、6つの中学校区ごとに部会をつくり、振興策を話し合っています。今後はそれぞれを協議会として分割設置することも協議されています。

地区振興会は市民主体の組織であるため行政が運営を指導することはできませんが、地区振興会発展のために各地域協議会で情報交換ができるよう働きかけたいと考えています。

なお、今年度からテーマ型コミュニティの育成・自立を目的にした支援制度を創設しました。様々な地域づくりの担い手を育てながら、行政と住民の協働によるまちづくりを進めていきます。

Q 市を退職した者が市の臨時職員になっている

A 市では、臨時職員の新規採用は、ハローワークに求人し、面接試験により応募者の中から採用することを基本としています。しかし、求人する時間がないときや技能、資格などが必要な場合は退職者の中から選考し採用することもあります。

また、市の施設や市が関係する社会福祉施設の施設長などの採用については、原則として公募とし、各団体が実施する試験を経て採用を決めることとしています。

Q 十日町地域内にも川西有機センターと同様の生ごみをたい肥化する施設を建設したらどうか

A 消費者の農産物の安全・安心に対する関心は年々高まってきています。また、農業でも限られた資源の有効活用が求められています。このようなことから、市では十日町地域に、平成19年度にたい肥施設の建設を計画しています。このたい肥施設は、主にきのこの廃菌床や豚ぷんを利用しますが、事業系の食品残渣（さ）など完全分別されているものの利用も検討しています。

昨年7月に完成した川西有機センター

湯米心（ゆめごころ）まつのやま

松之山支所
☎596-3131

「大地の芸術祭」イベント

「ヤッホー」調査がやってきた！

8月19日㈯、大地の芸術祭イベントとして「越後妻有ヤッホープロジェクト」が上鍛池の林道で行われました。ヤッホープロジェクトは、山を歩きながらやまびこが返ってくる「ヤッホーポイント」を探すというもので、徳島県上勝町で企画しているユニークな「ヤッホー調査」を、今回は大地の芸術祭「特別編」として松之山地域で開催したものです。

この日は、上勝町が認定する「やまびこ認定士」5人が一般参加者と一緒に林道を歩きながら「ヤッホーポイント」を探しました。認定士からは、「梅雨時が一番良く聞こえる」や「やまびこが帰ってくる時間は2秒が聞きやすい」、「自然の条件がそろってはじめてやまびこが響く」などヤッホー調査のコツについての話しがありました。

ポイントと思われる場所では、認定士の指導で参加者が手を叩いたり、「アーッ」や「ヤッホー」などの声を出したり、ほら貝を吹いて響きのチェックが行われました。場所によっては、崖下からわき上がるように聞こえたり、いくつもの山を越えて聞こえて来たりと、地形によってさまざまにやまびこが聞こえました。ヤッホー調査は午前と午後の2回行われ、参加者20人はやまびこの響きの不思議さと美しさを楽しんでいました。今回の調査で、この地域でも多くの「ヤッホーポイント」があることが分かりました。

ヤッホーポイントでやまびこを体験

盛会ににぎやかに「湯山太神楽祭」

8月26日㈯、湯山集落の秋祭り「湯山太神楽祭」が松之山体育館で行われました。会場には集落内外から大勢の観客がつめかけ、舞台で演じられる趣向を凝らした踊りや寸劇などに笑いと拍手があがっていました。祭りの見ものは何と言っても「太神楽」。舞台に天狗が登場するとかけ声が上がり、獅子と切り合う場面で会場の雰囲気も最高潮に達しました。最後に達天狗が獅子を討ち取ると観客から大きな拍手と歓声が上がっていました。またこの日は、湯山地区で行われている貸し農園事業の出穂観察会があり、首都圏から参加したグリーンリース会員も祭りに参加し、飛び入りで歌や踊りを披露するなど、地域住民との楽しい交流も行われていました。

太神楽で獅子と切り合う天狗

留山（とめやま）ダム祭りで「涼しさ」味わう

8月15日㈫、留山ダムで松里土地改良組合が主催する『第4回留山ダム祭り』が行われました。施設を管理している土地改良組合が、組合員や地域住民にダムのことを広く知ってもらおうと、毎年お盆のこの時期に計画しています。この日は、貯水量の管理や気象観測などが行われている管理棟の施設見学や、ボートに乗り湖面からのダム視察など、ダム祭りならではの体験が行われました。管理棟前に設けられた特設の生けすでは、岩魚のつかみ取りも行われ、子どもたちは保護者の声援を受けながら袋いっぱいに魚を捕まえていました。また売店も出店し、岩魚の塩焼きや焼き鳥に舌鼓を打ちながら、約100人の参加者はダムでの涼しい一日を楽しんでいました。

ダム祭りで行われた岩魚のつかみどり

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111

「越後妻有レインボーハット」でワークショップを開催

8月27日㈰、民族楽器を奏でるワールドパーカッションジャムバンド『はち』によるワークショップ「原始未来レイブ」が、節黒場跡キャンプ場の芸術祭作品「越後妻有レインボーハット」の中で開催されました。

ガーナ太鼓の力強い音がキャンプ場一帯に響き渡り、ファンや地元の人合わせて350人が集まりにぎやかな一日となりました。

同作品作家の関口恒夫さんも、集まった人たちといっしょになって楽しそうにダンスを踊っていました。

芸術作品の中で開催された原始未来レイブ

作品鑑賞ツアーを実施

8月6日㈰・20日㈰の2日、芸術祭作品鑑賞ツアーが行われました。

これは、川西トリエンナーレセンター主催で実施したもので、両日とも晴天に恵まれ、20人の参加者は、流れる汗を拭きながら体でアートを体感。話題のスポットを中心に、越後妻有地域を一周してきました。

楽しそうに、興味深く一つひとつの作品を鑑賞する参加者

熱戦！十王堂角力（すもう）大会

8月15日㈫、十王堂奉納角力大会が開かれました。

お堂の上から「福まき」が行われたあと、角力大会の開始です。恒例になっているこの大会には、東善寺を中心とする地区の子どもたちが集まり、幼児から小学生まで年齢別・男女別に熱戦を繰り広げました。

豪快に勝負がつく取り組みや土俵いっぱい攻防を繰り返す取り組みなど、手に汗握る場面も多く見られ、子どもたちの真剣さに観客も盛んに声援を送りました。

また、勝負がつくたびに、歓声がわき上がり、会場は熱気に包まれていました。

声援に応え、熱戦を繰り広げる子どもたち

フォトで紹介 上野しちんちまつり

8月26日㈯・27日㈰

16組が参加した大仮装大会。団体で優勝を飾った「きつねの嫁入り コンコン」の菱の会の皆さん

訂正

8月10日号の本コーナーで紹介した「花のアートコンクール受賞者発表」で、コンテナガーデン部門の最優秀賞作品の写真が誤っていました。おわびして訂正します。

コンテナガーデン部門
（敬称略）
最優秀賞　清水ノリ子

ときめきネットワーク

先月の田村優子さんからバトンタッチ

押木真澄さん
1983年生まれ
押木建築勤務

大工を選んでよかった！

本当は車の整備士になりたかったんです。高校卒業後に仕事を探してたんですが、なかなか就職口が決まらなくて、このままじゃだめだと思い、家業の建築屋を手伝ったのが始まり。当然最初のころは下働きです。ごみ片付け専門でした。さすがにいやで、ハローワークに行ったりもしてましたが、不思議とやめたいとまで思ったことはなかった。むしろ仕事に慣れてきたら「これでもいいかな」って思えるようになってきたんです。で、気が付いてみたらもう5年目になりました。

お客さんからの「ありがとう」の言葉がなによりうれしいです。自分で仕事を見つけることもできるようになりました。もうこの仕事やめるつもりはないし、将来的には、1級の技能士の資格を取るのが目標です。外仕事なんで夏場は暑くて大変だけど、仕事が終わってからのビール、最高ですよ！（笑）20年・30年たったとき、幸せで笑っていられればいいなぁと思いますね。

田舎って静かでいいところだと思います。でも、若者が集まるところが無いんですよね。休日や夜、町に行ってもあまり見かけないし、同世代の人たちって何やってんだろうと思いますもん。若者が集まれるところ、あるといいなぁ。

光ケーブルネットワークで地域が変わる VOL.7

地上波デジタル（地デジ）放送 弥彦送信所で10月から全局でスタート

2011年7月24日までにアナログテレビ放送が終了し、デジタル放送に順次移行されます。これは飽和状態の電波をデジタル化によって整理し、空いた電波帯を将来的に有効活用することを目指すものです。

市では今月からシリーズで地デジ放送に関する情報をお知らせします。

新潟県内では弥彦にて既に地デジ放送が始まっていますが、TeNYとUX（NT21）の2局が10月から追加となり6チャンネルすべてで地デジが開始されます。

☆地デジ放送が始まると…

■放送サービスのメリット

～アナログ技術からデジタル技術への変更により次のサービスの質が向上します～

▼ゴースト（2重映像）が無く鮮明な映像や音声を提供

▼ワイド画面やハイビジョンの高画質、CD並みの高音質を提供

▼高齢者や障害のある方への字幕放送や解説放送

▼データ放送により、リモコンボタンでいつでもニュースや地域の天気予報を提供

▼電子番組表（EPG）がテレビで見られ、録画予約も簡単

▼電話回線などにつなぎ、クイズやアンケートなど視聴者参加型双方向サービスを提供

■全体のメリット

デジタル化によりVHFの電波帯はテレビ放送以外の用途に開放されますので、電波の有効利用が進みます。また、全国に4、800万世帯にあるテレビがデジタル化されることにより、データ放送などを使った身近で簡便な全国レベルの情報通信基盤が築かれることにもなります。ICTの恩恵を受けるということは国の未来戦略であり、重要な施策となっています。

【地デジの情報に関するホームページ
地上デジタル放送推進協会
http://www.d-pa.org】

※次回は「地デジを視聴するには」というテーマでお知らせします。

◆問合せ◆
総合政策課
情報政策係
☎757-3111
（内線233）

あいどるキャッチ

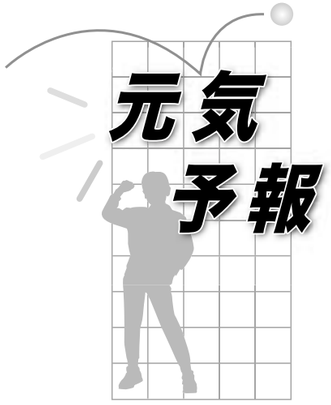
関谷　海音ちゃん
せきや　かのんちゃん
平成17年1月27日生まれ
松代

かのんちゃんは月に2回のすくすく教室がとても楽しみです。音楽や民謡に合わせて踊ったり手拍子したり、観音祭のときはサンバも踊っちゃう、大のおじいちゃんっ子のかのんちゃんです。

中島　智大ちゃん
なかじま　ともひろちゃん
平成16年4月14日生まれ
城之古第3

飛行機、機関車トーマス、ユンボがお気に入りおもちゃです。「ももたろう」の絵本を読むのがとってもじょうずなともくん、ちょっとはずかしがりやだけど、好き嫌いなくなんでも食べられます。

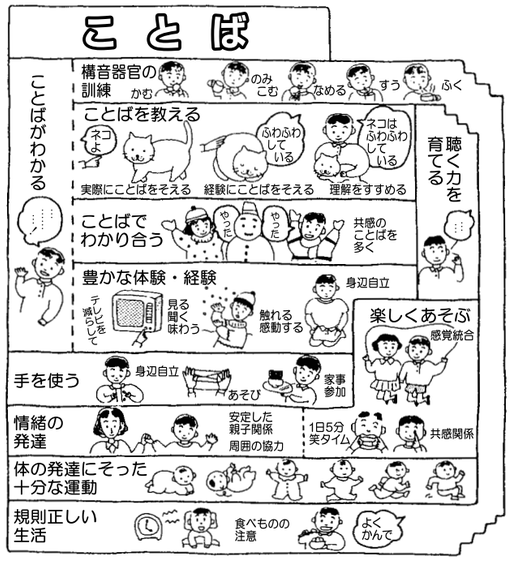
元気予報



問合せ　健康支援課母子保健係 TEL757-3111（内線123）

子どものことばの発達

ことばは「教えて覚える」ものではなく、いつの間にか生活全体の中で自然に覚えるものです。この図の作者である言語聴覚士の中川信子さんは、ことばはビルに例えると最上階であり、規則正しい生活や体の運動・遊びなどの基礎づくりに力を入れることが、しっかりしたことばは作りにつながると言っています。



（ぶどう社「ことばをはぐくむ」より）

接し方のポイント

①子どもはことばの一つひとつを音として聞き分ける能力が未熟です。ゆっくり・はっきり・繰り返し話しかけましょう。

②ことばは人と人とのやり取りで育っていきます。子ども自身の行動や気持ちを「ぴょんぴょんウサギさんみたいだね」などと大人がことばで言ってあげましょう。

③発音やことばの使い方が間違っていても、言い直しはさせず、大人が正しく言い直して聞かせるだけにします。「あっでんまだ」と言ったら「そうね、電話だね」というように返してあげましょう。

④「ダメ」はだめです。こうしてほしいことを伝えましょう。「走っちゃダメ」ではなく「ここに座ろうね」というように声をかけてあげましょう。

ことばの遅れ

ことばの発達は個人差が大きいですが、ことばの遅れの原因には、聴覚障害や発達障害などもあります。心配な人は各地域の保健師に相談しましょう。

第１回まち･むらトーク　水沢地区で開催

８月23日㈬、水沢公民館で第１回となる「市民と市長の対話　まち・むらトーク」が開催されました。「地域医療のこれからと高規格道路」をテーマに行われたこの集会には約100人が参加。まず、田口市長が、松代地域の取り組みを例にあげて「住民参加による地域の自立と官民の協働が大事」と述べた後、３人の地区代表者が、高規格道路インターチェンジ周辺の開発と地域の活性化、十日町病院建設と医療課題の解決などについて質議を行いました。続いての自由トークでは、十日町病院の建設や高速情報通信網整備、土地改良事業、広域農道整備など多岐に渡るテーマや課題について熱心な議論が展開され、会場は、夏の暑さとは別の熱気に包まれていました。

まちの話題 TOWN TOPICS

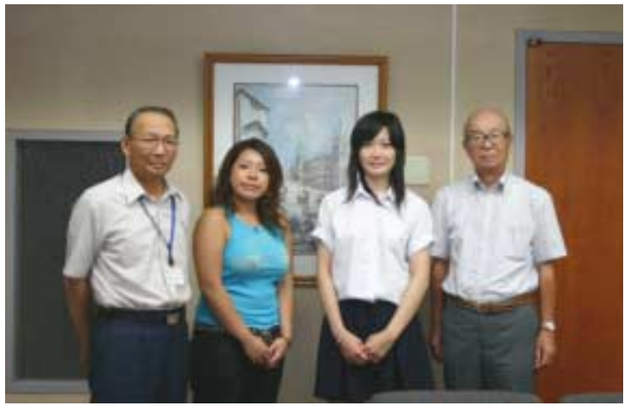
このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757―3111内線213）へ、お気軽にお寄せください。

より早い救命処置を

８月21日㈪、十日町地域メディカルコントロール協議会（高橋修一会長）によって、救命医療訓練施設（ＥＭＴＲ）が、県立十日町病院内の一室に設置されました。これは十日町地域内の医療機関従事者や救急隊員などが、救命処置を必要とする現場に遭遇した場合、必要とされる処置を効率良く実施できるよう訓練を積むための施設です。訓練には心肺蘇生法や、気管挿管・薬剤投与などの２次救命処置などがあり、そのために必要な医療器具も設置されています。

さまざまなプログラムで体力づくりを支援

９月１日㈮、水沢地区にある十日町体力つくりスイミングスクールが、装いも新たに十日町体力づくり支援センターとしてオープンしました。これは、㈶体力つくり指導協会主導のもと、スイミングスクールのプールの南側に新たに運動場を併設することで、より総合的なスポーツ施設としての運営を目的にしたものです。今後は、ヨガ教室やフラダンス教室、親子運動教室などのプログラムを設け、全年齢を対象にした健康づくり運動を推進していきます。ヨガ教室の参加者の一人は、「本当にきれいな運動場だと思います。これからもっと利用していきたいですね」と話していました。


左から田口市長、廣田さん、小野島さん、小川会長

コモ市との交換留学で幅広い交流を

イタリア・コモ市との交換留学で派遣されていた、廣田留美さん（田中町本通り・22歳）と小野島彬子さん（松代・15歳）が２週間のホームステイを終えて８月31日㈭、帰国の報告に田口市長を訪ねました。この青少年の交換留学は、十日町・コモ姉妹都市交流協会（小川徳久会長）とコモ市ファミリア・コマスカ協会とが、昨年の交流30周年を機に、両市の交流をさらに深める目的で計画したもので、今年度初めて実施されました。留学の実施について小川会長は、「未来を担う若い人たちの家庭的な交流をとおして、両市の交流の幅が広がることを期待しています」と今後の抱負を述べました。12月にはコモ市から留学生が当市に訪れます。

ほくほく線に乗って星空観察

８月20日㈰、まつだい芝峠温泉・雲海を会場に、「ほくほく線で行く星空観察会」が行われ、沿線市町村から親子連れなど１３０人が参加しました。この企画は、ほくほく線沿線地域振興連絡協議会が、毎年開催する夏休みの人気企画です。参加者一行は、ほくほく線ゆめぞら号で車中の映像を楽しみながら松代駅へ向いました。講師の菅井隆さん、鈴木正彦さんなど４人の天文指導員から、映画で講習を受けたあと、屋外で望遠鏡をのぞいて夏の星座を楽しみました。

音色と着物で涼しさを奏でます

８月20日㈰、きものの広場公園（本町６）で、TJWE（十日町ジュニアウィンドアンサンブル）による夕涼みコンサートが開催されました。浴衣、甚平姿のメンバー50人によるコンサートでは、エルビス・プレスリーの監獄ロックから始まり、途中、楽器紹介をはさみながら、青春アミーゴ、恋のマイアヒなどの多彩な曲が演奏され、会場を訪れた約100人が聞き入りました。団長の滋野英美子さんは「私たちの演奏が、公園の近くにある仮設住宅の皆さんに楽しんでもらえたらうれしいです」と話していました。TJWEは毎月３回、土曜日に中央公民館で練習を行っています。

交通安全をアートで訴える

８月21日㈪、国道２５３号高山地内に、交通標語が書かれたのぼり旗約25本が並びました。これは、交通死亡事故多発に伴う臨時交通街頭指導所の開設に併せて行われた「フラッグアート作戦」です。安全運転を訴えるフラッグは、安全運転管理者部会が作成したもの。指導所のそばでは、田口市長をはじめ高山保育園の園児やＮＰＯ「あんしん」の人たちが、事故注意のチラシや、八箇峠にゴロを合わせたハッカ糖を道行くドライバーに配りながら交通安全を訴えました。

全国大会入賞者

スポーツ全国大会

●第73回日本高等学校選手権水泳競技（８月17日㈭～20日㈰　千葉県国際総合水泳場）
８００ｍリレー
７位　樋口裕也
（長岡大手高校、下条中出身）

【おわびと訂正】　市報８月10日号、25日号に掲載した写真甲子園２００６に出場の十日町総合高校の生徒・入賞者の氏名に誤りがありました。おわびして訂正します。

●第13回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園２００６」
敢闘賞　岩崎元美、保坂麻衣、綱佑子（十日町総合高校）

樋口選手の力泳

全国中学生相撲団体３位!!

左から大熊夏輝さん（中条小）・村山大洋さん（下条小）・高橋拓弥さん（小千谷市）・橋本拓実さん（中条小）・金井極さん（中条小）　※（　）内は出身小学校

８月20日㈰・21日㈪の２日間、愛媛県宇和島市で行われた第36回全国中学校相撲選手権大会において、団体戦で新潟県代表として出場した糸魚川市立能生中学校が見事３位入賞を果たしました。出場した選手５人のうち、４人は十日町市の小学校の出身者です。

第２回市民スポーツ大会

10月９日（体育の日）を中心に市民スポーツ大会が開催されます。秋の一日、さわやかな汗を流しましょう！

期　日	大　会　名	会　場	問　合　せ
10月１日㈰	市民ハイキング	谷川岳	滝沢信一 757－2191
10月８日㈰	ソフトテニス大会	信濃川運動公園テニスコート	湯沢一彦 757－9166
	ソフトボール大会	信濃川運動公園野球場Ａ・Ｃ	高澤政弘 090-4833-1512
	第２回市長杯争奪ゲートボール大会	水沢運動公園ゲートボール場	霜垣弘文 757－8768
	第42回市民体操競技大会	十日町高校東体育館	柳善信 768－3062
	少年野球大会・400歳野球大会	笹山野球場・総合公園野球場・信濃川野球場	小林聡 757－3115
	テニス(シングルス)大会	総合公園テニスコート	堀好司 090-1123-6552
10月９日（体育の日）	2006十日町ＲＵＮ・ランリレーカーニバル	陸上競技場	宮沢邦元 757－3100
	空手道競技会大会	十日町総合高校体育館	西野弘幸 757－8339
	市民剣道大会	武道館剣道場	服部廣一 752－0026
	社会人フットサル大会	当間高原リゾートベルナティオフットサルコート	佐藤和彦 752－2511
	第35回郡市柔道大会	武道館柔道場	村山潤 752－2445
	第40回パパママバレーボール大会	十日町市総合体育館	田川直樹 757－0788
	少年野球大会・400歳野球大会	笹山野球場・総合公園野球場・信濃川野球場	小林聡 757－3115
	卓球大会	川西総合体育館	南雲和幸 752－2223
	宮沢・小山杯争奪バスケットボール大会	十日町高校体育館	藤巻裕 752－7441
	第22回ジュニアバドミントン大会	十日町市市民体育館	飯塚聖一 758－2662
10月15日㈰	相撲競技大会	武道館相撲場	福原忠之 090-4930-2819
	第21回中里健康ウォーク兼第10回ミオンウォーク	ミオンなかさと	中里教育事務所 763－2493
10月22日㈰	秋季市民バドミントン大会	十日町市総合体育館	飯塚聖一 758－2662

参加者募集！水辺の楽校

今年で５回目を迎える水辺の楽校。小・中学生を対象に、信濃川の水生生物や植物・昆虫・野鳥の観察会を行います。お昼にはとん汁のサービスあり！多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◆申込み締切◆
9月15日(金)

日　時　９月23日（秋分の日）午前10時～
会　場　水辺の楽校つまりっ子ひろば
（妻有大橋右岸たもと）
参加費　500円（ガイド代含む、当日徴収）
楽習コース　①昆虫観察コース
②植物観察コース
③水生生物観察コース
④野鳥観察コース
講　師　水辺の楽校活用協議会（博物館植物研究グループ、日本自然保護協会自然観察指導員、十日町野鳥の会、市立理科教育センター）
申込み・問合せ
水辺の楽校活用協議会事務局（克雪維持課克雪利水係内）☎757-3111（内線273）

市役所フォ～カス ㉙

この夏 働きました！

私は扇風機。毎日市役所の事務室で働いています。連日の猛暑の中、高齢の冷房機さんでは温度を一定に下げられず、私が重宝されているのです。特に、冷房機さんが仕事を終える午後５時過ぎからは神様扱いです。夜遅くまで仕事をしている職員の肩にそっとそよ風を送るだけで喜んでもらえます。専門職みょう利に尽きるときです。でも、もうすぐ私はお払い箱。みなさん、来年の夏のために、働き詰めの私の手入れも忘れないでね。

十日町市新商品等開発支援事業採択事業決定！

十日町市新商品等開発支援事業は、市内の中小企業者などによる新商品開発に向けたアイディアや企画を、形（試作品）にするまでの経費の一部を補助するものです。今年度採択事業の申請者と事業テーマをお知らせします。

【採択事業】……１件
〈申　請　者〉株式会社 メイケン
〈事業テーマ〉「コンタクト自動挿入機
（コンタクト挿入速度0.08s/1pin⇒0.05s/1pin）」
※申請案件数：３件
※審　査　員：７人（市長、商工業関係団体、専門家ほか）

〔申請者コメント〕
現在最新のコネクターは、携帯電話に使用されているものが代表されるように、可能な限り小さくなった。また、機能が増加していくため（電話機能のほか、カメラ、ＴＶ、ラジオ、ＩＴ、メールなど）扱う情報量も瞬く間に増加した。それに伴い、コネクターの情報接続端子も増加している。軽薄化のうえに端子の増加が加わり、製造コストは上昇するが市場がそれを許さないためマシーンのスピードを上げる必要性が生まれている。現状最速1PIN当たり0.08秒の速度を、30%アップした0.05秒で加工することを目指す。生産性と新規受注の向上を目指すだけでなく、加工の地元業者への発注などによって地域経済の活性化にも貢献する。

GUIDE

お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

催し講座

総合体育館トレーニングルーム無料体験講座

トレーニングルームを利用した健康づくりについて、インストラクターがわかりやすく指導します。●**期日**＝9月29日㈮～10月1日㈰※事前に予約が必要です●**会場**＝総合体育館トレーニングルーム●**対象**＝中学生以上の人●**参加費**＝無料●**申込み・問合せ**＝総合体育館（☎752―4377）

健康体験講座（ヨガ）

●**会場**＝総合体育館柔道場●**定員**＝各回先着70人●**持ち物**＝ヨガマットまたは大きめのバスタオル●**申込み・問合せ**＝総合体育館（☎752―4377）

【ヨガ体験講座】●**日時**＝9月29日㈮午前10時30分～11時45分、午後7時15分～8時30分●**対象**＝15歳以上（中学生不可）●**参加費**＝無料（ただし、体育館使用料200円が必要）

【ヨガ講座】●**日時**＝9月30日㈯午前10時15分～11時30分●**対象**＝ヨガ体験講座受講者●**参加費**＝500円

秋の交通安全運動街宣パレード

9月21日㈭～30日㈯の交通安全運動期間にあわせて、県警パトカー・白バイ隊や市内中学校吹奏楽部、立正佼正会鼓笛隊による街宣パレードを行います。●**日時**＝9月24日㈰午前10時～●**経路**＝キナーレ～本町通り～駅通り●**問合せ**＝市民生活課生活環境係（内線151）

福祉まつり2006

●**日時**＝10月1日㈰午前11時～午後2時●**会場**＝千手中央コミュニティセンター●**内容**＝体験実演コーナー（ミニ点字教室・ミニ手話教室・訪問入浴実演など）、ボランティア活動紹介コーナー、福祉チャリティーバザー（なごみの家しぶみの家作品展示販売・給食ボランティア手作り弁当の販売・わたあめ無料サービスなど）※手作り品や不用品などを提供できる人は社会福祉協議会各支所へ持参ください●**問合せ**＝市社会福祉協議会川西支所（☎768―3343）

【福祉まつりアニメーション映写会「どんぐりの家」】●**時間**＝①午後1時30分～3時30分②午後6時30分～8時30分●**会場**＝千手中央コミュニティセンター●**入場料**＝100円（乳幼児無料）

郡市発明工夫模型展・生物標本展

郡市内の小・中学生が製作した発明工夫作品や模型作品、動植物の標本作品を展示します。●**日時**＝9月16日㈯～18日（敬老の日）午前9時30分～午後5時（最終日は正午まで）●**会場**＝クロス10●**問合せ**＝理科教育センター（☎752―4632）

中里方面隊消防演習中里地域防災訓練

中里方面隊によるポンプ操法や初期消火訓練、応急救護訓練などを行います。●**日時**＝9月17日㈰午前8時～正午●**会場**＝清津川フレッシュパーク（雨天時：倉俣小学校体育館）●**問合せ**＝中里支所市民生活課生活環境係（☎763―2513）

青級ホームフェスティバル

公民館の青級ホームで勉強していることを小学生に楽しく指導します。●**日時**＝9月23日㈯（秋分の日）午前9時～11時30分●**会場**＝中央公民館●**内容**＝①手話②パソコン③ミニドラマ④料理⑤やきものの中から1つ選択●**参加費**＝①②無料③100円④500円⑤300円●**対象**＝①②③4年生以上④1～6年生⑤3年生以上●**申込み・問合せ**＝9月19日㈫までに中央公民館（☎757―5011）

ヒロシマを語る会

広島市の被爆者による講演会です。●**日時**＝9月28日㈭午後7時30分～●**会場**＝千手中央コミュニティセンター●**入場料**＝無料●**問合せ**＝原水爆禁止十日町市協議会事務局（防災安全課防災安全係内　内線172）

夏見円選手講演会・スキー実技講習会

講師はトリノ五輪クロスカントリースキー女子チームスプリント競技で8位入賞した夏見円選手です。【講演会】●**日時**＝9月15日㈮午後7時～8時●**会場**＝クロス10●**入場料**＝無料【実技講習会】●**日時**＝9月16日㈯午前9時～11時30分●**会場**＝マウンテンパーク津南ローラースキーコース●**参加費**＝無料●**問合せ**＝十日町市スキー協会佐藤（☎752―7886）

あてま森のフォーラム

森の中の遊びや生き物のお話、バームクーヘンづくり、オカリナ演奏で楽しみましょう。

日　時　9月23日（秋分の日）午後1時～4時
会　場　ベルナティオ「ふれあい広場」
　※雨天時：フォーラムセンター
参加費　無　料
講　師　内山　緑さん（なじょもん）ほか
演　奏　五十嵐正子さん（オカリナ）
その他　当日参加可。ただし、団体の場合9月21日㈭までに申し込みください。
問合せ　観光交流課☎757－3100

障害者求人・就職相談会

●**日時**＝10月10日㈫午後2時～4時●**会場**＝クロス10●**問合せ**＝ハローワーク十日町（☎757―2407）

2006動物愛護ふれあいフェスティバルinとおかまち

かわいい動物が大集合します。●**日時**＝9月24日㈰午前11時～午後3時●**会場**＝ベルナティオ芝生広場●**内容**＝ポニーの乗馬体験、犬ぞり体験、バルーンアートなど●**問合せ**＝魚沼動物保護管理センター（☎025―792―8621）

高山十五夜まつり

●**日時**＝9月16日㈯午後7時～●**会場**＝高山八幡様●**内容**＝西小いたずら太鼓、お楽しみ抽選会、踊り、芝居など●**問合せ**＝高山地区体協雲野（☎752―3818）

吉田中・川西中吹奏楽部合同演奏会

ゲストにバリ・チューバアンサンブルのタンブル・ヴァッソ、作曲家の坂井貴祐さんを迎えます。●**日時**＝9月23日（秋分の日）午後2時～（開場1時30分）●**会場**＝市民会館●**入場料**＝無料●**曲目**＝セレモニアルマーチ、童謡メドレーほか●**問合せ**＝吉田中学校・小林（☎752―2878）

新潟アルビレックスBBプレシーズンマッチ十日町大会

バスケットボール新潟アルビレックスBBが大阪エヴェッサを迎えてプレシーズンマッチを行います。●**日時**＝10月1日㈰午後2時～●**会場**＝総合体育館●**入場料**＝高校生以上2、000円、小・中学生1、000円※当日各500円増し●**入場券取扱い**＝総合体育館、市内スポーツ店ほか●**エキジビションゲーム**＝午前10時から市内小・中学生により実施●**問合せ**＝市バスケットボール協会事務局・藤巻（市下水道課☎752―7441）

十日町商工会議所夜間簿記講習会

簿記の基本から商工会議所簿記検定3級程度の実力を養成する講習会です。だれでも受講できます。●**日時**＝10月4日㈬～11月15日㈬午後7時～9時（延べ18回）●**会場**＝十日町商工会議所●**受講料**＝7、000円（会員6、000円）＋テキスト代1、200円●**定員**＝先着30人●**講師**＝樋口紘一氏（川西高校キャリアアップサポーター）●**その他**＝受講後は修了証書を授与、日商簿記検定試験は11月19日㈰●**申込み・問合せ**＝9月22日㈮までに、申込書に参加費を添えて十日町商工会議所（☎757―5111）

十日町TMO街づくりセミナー街づくりは自分の天命！

コンパクトシティを実現した青森市の成功事例のセミナーです。●**日時**＝9月21日㈭午後7時～●**会場**＝十日町商工会議所●**参加費**＝無料●講師＝加藤博氏（青森市街づくりあきんど隊隊長）●**問合せ**＝十日町商工会議所TMO事務局（☎757―5111）

中之島流十日町大正琴愛好会チャリティコンサート

●**日時**＝10月1日㈰午後1時30

十日町市新商品等開発支援事業第2次募集を開始します

市では、新しい技術やアイディアで新商品を開発する人を支援します。

●**期　間**＝～平成18年9月30日㈯
●**対　象**＝助対象経費が100万円以上で平成19年2月末日までに終了する事業
●**申請方法**＝申請書に必要書類を添えて提出
※申請書は産業振興課、各支所地域振興課に配置
●**問合せ**＝産業振興課雇用開発室（内線237）

平成18年度　秋季消防演習（地区及び方面隊日程表）

地区名（分団名）	日　時	場　所
水沢地区 第12分団・第13分団 第14分団	9月17日㈰ 午前8時～	馬場小学校
中里方面隊	9月17日㈰ 午前8時～	清津川フレッシュパーク （倉俣小学校体育館）
川西方面隊	10月1日㈰ 午後1時30分～	仙田道の駅駐車場 （仙田小学校体育館）
十日町地区 本部分団・第1分団 第2分団・第3分団 第4分団・第8分団	10月15日㈰ 午後1時～	十日町中学校
吉田地区 第9分団・第10分団	10月15日㈰ 午後1時～	鐙島小学校
中条地区 第5分団・第6分団 第7分団	10月29日㈰ 午前8時～	中条中学校

問合せ　十日町地域消防本部　☎757－0119

分～（開場1時）●**会場**＝市民会館●**入場料**＝前売1、000円●**問合せ**＝十日町大正琴愛好会事務局柳（☎757―2826）

部落解放第23回新潟県研究集会

講演会の後、分科会を行います。●**日時**＝10月1日㈰午前10時30分～午後5時●**会場**＝新潟市新津地区市民会館●**内容**＝【記念講演】川口泰司氏（山口県人権啓発推進センター事務局長）●**問合せ**＝部落解放同盟新潟県連合事務所（☎0258―36―5870）

GUIDE 募集

就職直結型ETスペシャリスト人材育成講座

●**期間**＝11月6日㈪～19年3月中旬●**会場**＝NCC新潟コンピュータ専門学校（新潟市）●**対象**＝30代半ばくらいまでの就職希望者（在学者は除く）●**受講料**＝無料（試験料・テキスト代は実費）●**予約受付時間**＝祝日を除く月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分●**申込み・問合せ**＝9月25日㈪まで（必着）に県産業労働観光部労政雇用課（☎025―280―5270）

環境フェア（不用品代理販売会）不用品募集

県消費者協会十日町支部では10月9日（体育の日）にキナーレで行われる環境フェアで、家庭で眠っている不用品を代理販売します。●**受付日時**＝10月3日㈫午前9時～午後4時●**受付方法**＝不用品に価格を付けて市民体育館に持参●**その他**＝①売上金の20％と振込手数料をいただきます②残品は返却できません③衣類は新品かシミ・汚れのないきれいなものに限ります●**問合せ**＝県消費者協会十日町支部事務局（市民生活課生活環境係内、内線158）

コンピュータ研修受講者募集

市報8月10日号でお知らせしたコンピュータ研修は、定員にまだ余裕があります。パソコン&インターネット・ホームページ・ワード・エクセルの入門講座はいずれも受講可能です。電話で受け付けます。●**申込み・問合せ**＝情報館（☎750―5100）

伊沢和紙を使った灯篭展 第4回伊沢和紙ほたるin犬伏宿作品募集

伊沢和紙を使った灯篭作品を募集します。●**募集部門**＝一般、小・中学生●**応募要綱**＝①縦・横・高さいずれも1m以内②明かりは電球を使用③応募点数制限なし●**表彰**＝最優秀作品一般の部（3万円）小・中学生の部（商品券1万円分）※そのほか多数賞品有ります●**作品搬入期日**＝10月5日㈭～7日㈯●**申込み・問合せ**＝9月30日㈯までに、犬伏けやきの会（☎595―6692）

【伊沢和紙を使った灯篭展】

ボイコ・ストヤーノフコンサート、松山金一講演会も行います。●**日時**＝10月8日㈰午後5時～●**会場**＝伊沢和紙工房・欅（犬伏松苧神社参道）

ほくほく線元気まつりin まつだい～秋の宴～ ボランティア募集

まつりを盛り上げるためのボランティアスタッフを募集します。●**開催日時**＝10月15日㈰午前8時～午後6時※昼食付●**会場**＝ほくほく線まつだい駅前ほか●**活動内容**＝よさこいチームの受付や会場・駐車場の整理など●**申込み・問合せ**＝9月22日㈮までに松代公民館（☎597―2301）

笹山じょうもん市フリーマーケット出展者募集

●**日時**＝10月1日㈰午前9時～午後3時●**会場**＝笹山遺跡特設会場●**出展料**＝無料●**申込み・問合せ**＝9月20日㈬までに中条公民館（☎752―2748）

GUIDE 健金保年

長岡赤十字病院耳鼻咽喉科受付時間を変更します

9月から、受付時間が変わりますのでご注意ください。【紹介状有】毎週月～土曜日午前8時30分～11時【紹介状無】毎週火・水・木・土曜日午前8時30分～10時●**問合せ**＝健康支援課地域医療係（内線128）

児童手当の申請はお済みですか？

支給対象年齢の拡大、及び所得制限緩和による児童手当は、9月末までに受け付けたものは特例的に4月1日（または支給要件に該当した日）にさかのぼって支給されます。また、10月1日以降に申請した場合は、申請の翌月からの支給になります。該当児童のいる人は、9月29日㈮までに手続をしてください。（公務員は勤務先へ問い合わせてください）●**提出先**＝保険年金課または各支所市民生活課●**問合せ**＝保険年金課年金係（内線167）

GUIDE その他

事業所・企業統計調査にご協力ください

10月1日㈰に、平成18年事業所・企業統計調査が全国一斉に行われます。対象は、農林漁家を除くすべての事業所です。この調査は、産業構造や事業活動の実態を明らかにするために行われ、調査の結果は、国、都道府県、市区町村がこれからの地域開発や都市計画など私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。9月下旬から調査員が対象事業所へ調査票を配布します。ご協力をお願いします。●**問合せ**＝総務課

文書統計係（内線216）

外国籍住民のための相談窓口開設

外国籍住民とその家族の生活上の諸問題の解決をサポートするため、多言語での相談を受け付けています。面談による相談も行っていますので問合せてください。●**対応言語**＝英語・中国語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・インドネシア語・タガログ語●**相談時間**＝午前9時～午後11時●**問合せ・相談専用電話**＝㈶新潟県国際交流協会相談窓口（☎025―241―1560）

相続・遺言・介護・福祉無料相談会

司法書士と社会福祉士が、相談を受け、問題解決へのアドバイスをします。※要予約●**日時**＝9月23日㈯午前10時～午後4時●**会場・当日受付電話**＝①長岡会場：アトリウム長岡（☎0258―37―9111）②上越会場：上越市民プラザ（☎025―527―3353）●**申込み・問合せ**＝リーガルサポートにいがた（☎025―228―1727）

中小企業退職員共済制度を紹介します

中小企業退職金共済制度は、中小企業で働く従業員のための外部積み立て型の、国の退職金制度です。制度の特色として①適格年金制度からの移行先②掛金の一部を国が助成③掛金は全額非課税④パートタイマーも加入可⑤退職金の管理が容易などです。詳しくはお問合せください。●**問合せ**＝中小企業退職金共済事業本部（☎03―3436―0151）

【市報おわびと訂正】

8月25日号に誤りがありました。25ページの9月の休館日の中の**情報館の休館日は30日㈯**ではなく、正しくは**29日㈮**の誤りでした。おわびして訂正します。

指定金融機関変更のお知らせ

10月1日㈪から、市の指定金融機関は北越銀行から第四銀行に変わります。

●**問合せ**＝会計課出納係（内線104）

サタデー市長室

市民と市長が直接対話することにより、市民の声を市政に生かすとともに相互に信頼関係を築くため、市長室を市民に開放する「サタデー市長室」を行っています。参加を希望する場合は、下記により申込んでください。

- ●**実施日**　11月25日、12月9日・23日、1月13日・27日、2月10日・24日、3月10日・24日
- ●**実施場所**　十日町市役所市長室
- ●**対象者**　原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体（おおむね10人以内）
- ●**申込方法**
  - 氏名、年齢、住所、電話番号、市長と話し合いたい内容などを明記のうえ、電話・FAX・Eメール・郵送など適宜の方法で事前に申込んでください。
  - 受付は先着順（開催日の3日前締切り）
- ●**対談時間**　午前9時から正午まで。1組1時間以内
- ●**出席者**　市長／関係職員など
- ●**その他**
  - 市長公務の都合や、やむをえない事情により実施できない場合があります。
  - 内容により、対談によらず電話対応や文書回答することがあります。

申込み・問合せ：〒948-8501 十日町市役所　総務課広報広聴係（内線213）

寄付ありがとう

8月25日届出分まで（敬称略）

●**地域福祉基金へ**＝大学対抗ゴルフ大会参加者（20,000円）

●**情報館へ**＝大津秀男（山本町5）庭野勇吉（高田町3西）村山早苗（田沢本村）村山林平（松之山湯本）

●**博物館へ**＝関口雅子（高田町3西）柳清友（川治中町）中町昌男（南新田町3）上村克子（下平新田）

●**消防署へ**＝㈶日本防火協会（視聴覚器材一式）

あちこちだね

▼第3回大地の芸術祭も盛況のうちに終わりを迎え、町も人もようやく一息といったところでしょうか。関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。▼各地で夏まつりが終わったころから、取材中に道ばたの枯葉が目に付くようになり、朝晩めっきり涼しくなりました。今年の秋は少し早い気がします。変な話ですが、今回の芸術祭では、何回か中越大震災を思い起こしながら鑑賞をしたことがありました。経験した中で、一番衝撃的だった出来事を思い出しながら、目の前に広がる光景と向き合う。芸術には、やはり精神に深く切り込む何かがありますね。もっとも、そういう作品は鑑賞後、本当にぐったりします。あの地震からもうすぐ2年になります。

（南）

▼頭、手、足、3人で一体の人形を操る、その息の合った絶妙な技を目の前で直に感じられるような儀明劇場「倉」公演でした。劇場は集落の外れにあり、除雪がされない道をこざきながらの雪下ろしは難儀を極めます。昨冬、多くのこへび隊や集落の皆さんが作業にいそしみ守りました。公演の終わりには、カンパが呼びかけられました。公演は無料だったので、観賞料として「倉」を守るための資金に充てられます。出演者自ら、劇場のために、集落のために汗する心遣い、頭が下がります。これまであまり目を向けられなかった空き家が、芸術作品としてにぎわっただけに、秋・冬の到来が気にかかります。

（鈴）

ジュニア芸術祭

15

橘小学校

藤田　聡さん（1年）

ダンボールで、ぼくのすきなカブトムシを作りました。黒いビニールテープでからだを光らせたんだ。強そうでしょ。空を飛べるように羽も4枚あるんだよ。

カブトムシ

どうぶついっぱいちょきんばこ

田口　諒さん（2年）

リスとかウサギとかペンギンとか、みんながなかよく住んでるお家のちょきんばこです。この中でリスがいちばんすきなんだ。しっぽを丸くしてかわいくできたよ。

ぼくのゆめこうしえん

五十嵐心弥さん（3年）

ぼくは野球が大好きです。将来は甲子園のマウンドで投げたいな。だから甲子園を作りました。人工芝に土を入れて、バックネットもはって。入り口にツタも付けたよ。

宇宙人

田口　翔さん（4年）

木の枝や実、葉っぱを画用紙にはって、火星に住む宇宙人の親子を作りました。こんな宇宙人が本当にいたらいいな。いろんな話をして友だちになるんだ。

森のなかまたち

滋野彩香さん（5年）

森の大きな木に集まった、昆虫や動物たちです。木の実を体にしたり枯れ葉を羽にしたりして、かわいくなるように工夫しました。台座の流木を探すのが大変でしたが、作っていてとても楽しかったです。

鹿おどし

丸山菜帆さん（6年）

水を入れてちゃんと音がしたときはうれしかったです。ひもでつるして竹の左右のバランスをとるのがむずかしかったです。かごの石にビー玉を混ぜてきれいに仕上げました。

市民の動き

■人　口　62,878人（−61）　男　30,826人（−35）　女　32,052人（−26）
■世帯数　19,969世帯（＋8）　8月末現在（　）は前月からの増減

■発行／十日町市役所　〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地　TEL.025-757-3111　FAX.752-4635
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp　URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp　■編集／総務課広報広聴係
携帯サイト